

ウーマン クリニック

鉄欠乏性貧血



西野レディース
クリニック院長

西野 照代

にしお・てるよ 昭和54年、兵庫医科大学卒。翌年より大阪回生病院、大阪大学医学部付属病院、大阪船員保険病院の勤務医を経て、平成4年より大手前病院産婦人科医長。平成17年に現クリニックを大阪府中央区に開院。

るものとして、①十分な栄養が摂取できない(ダイエット、胃全摘出術後など)②骨髄で正常に作られない(白血病、再生不良性貧血など)③腎臓の造血ホルモン不足などが挙げられます。

貧血って何でしょう。目の前が急に暗くなったり、

がみ込む「立ちくらみ」は、脳貧血(一時的に脳への血流が減少する)のことが多く、そういう場合、血液検査は正常のことも多いのです。産婦人科医が言う貧血は、一般的には鉄欠乏症貧血をいい、血液中の赤血球やヘモグロビンが減少することにより、身体の組織に酸素を十分送ることができない状態をいいます。

鉄欠乏性貧血の原因はいろいろですが、赤血球やヘモグロビンの産生が減少す

一方、産生は正常だが失う量が多いため貧血をきたすものもあります。胃・十二指腸潰瘍(かいよう)、痔やがんにより出血が続くと貧血になります。子宮筋腫や子宮内膜症による過多月経や不正出血も貧血をおこす原因ですが、それらの原因がなくても、女性は毎月月経があるため、男性より貧血になりやすいのです。

では、貧血になるとどんな症状が出るでしょう。動悸が激しい、身体がだるい、疲れやすい、顔色が悪いな

しばしば見られます。

会社の検診で貧血を指摘されても、「常に指摘されるから」「自覚症状もないし」と放置していませんか。貧血の原因には重大な疾患が隠れていることもありま。少ないヘモグロビンで全身に酸素を運ばねばならないため、心臓にも大きな負担がかかります。自己判断でサプリメントを飲んだりせず(過剰摂取は危険です)医師のもとで原因を調べ、きちんと治療することをお勧めします。